

令和7年度 健康うらやす21推進検討委員会

1 開催日時 令和7年8月29日(金) 午後1時30分～午後2時45分

2 開催場所 健康センター 第2会議室

3 出席者

(委員)

櫻井委員長、佐藤副委員長、影山委員、畑中委員、蛭名委員、岩井委員、

新城委員、竹原委員、田中委員、登坂委員、阿部委員、星野委員、山村委員、

湯浅委員、牧野委員、斎藤委員、黒濱委員、竹内委員

(事務局) 健康増進課 梅澤課長、加納課長補佐、島崎係長、鈴木(比)、安里、
宇田川、吉田

母子保健課 手島課長、武田課長補佐、阿部係長、徳留、斎藤、前野

(傍聴者) 1名

4 議題

健康うらやす21(第3次)について

5 議事の概要

1. 開会

2. 部長挨拶(健康増進課長代理)

3. 委員紹介

4. 委員長、副委員長選出

5. 議事

(1) 健康うらやす21推進検討委員会について

(2) 健康うらやす21(第3次)について説明

(3) 意見交換

(4) 連絡事項

6. 連絡事項

7. 閉会

6 会議経過

委員の紹介、委員長及び副委員長の選任後、事務局から令和7年度から開始した「健康うらやす21(第3次)」の計画について、趣旨、計画の位置づけ、計画の期間、基本理念と目標、浦安市の健康づくりをとりまく現状、重点施策、推進体制を説明しました。その後、「市民が健康づくりに取り組みために」というテーマで意見交換を行いました。各委員からの意見は次のとおりです。

(委員長) 意見交換に移らせていただきます。「市民が健康づくりに取り組むために」というテーマで、ご意見のある方は挙手をお願いします。

(委員) 健康には、食事・栄養が大事だと考えております。私の世代は、給食は残せば先生に怒られるのが当たり前でしたが、今は残しても何も言わないのではないのでしょうか。例えば牛乳は全部飲みなさいという指導はぜひ行っ

て欲しいと思います。今の学校の食育指導に関して、方針はありますか。

(委員) 今は楽しく食べることが大事で、その中で健康のことを考えていければと思う。例えば、朝食の取り組みの話がありましたが、学校では、「早寝き早起き、朝ご飯、朝うんち」ということで、気をつけようと。給食センターの栄養士が、昨年度在籍していた学校で魚の残菜が多かったため、魚がどれだけ健康に良いのか、調理師がどのように工夫して作っているのかを、授業で伝えました。授業を受けた子たちは、魚を残さずに食べようと自主的に盛り上がっていました。そのように、食べることは大切だということ伝えていきたいと思っています。

(委員長) その他にいかがでしょうか。浦安は4キロ四方で集合住宅が多い町です。しかし元町、中町、新町という形で、居住してきた時期や開発の時期が違い、地域ごとに入居されている方の年齢が近いという特徴があります。東京都に近く、アクセスが非常に便利でもあり、市民の層が市川市とは少し違う感じもします。市川市は元々古くて大きいところもありますが。浦安市は人工的に作られたところが非常に大きい場所でもありますので、よそから来た人が多い町であることは確かだと思います。元々魚をとっていたような地場の人たちが随分少なくなっているように思います。色々な団体が意識高く積極的に動いている感じがします。しかし一方では、そのような方々が繋がっていないのではという意見もあります。団体がやっている様々な健康づくりが、色々な形で広がっていけばいいと思います。

(委員) 市民が健康づくりをするのには、すでに健康づくりを行っている人は行っているため、行っていない人にどのように行ってもらおうかだと思います。行うことによる利点を提示してあげるとより行うのではないかと考えています。私の会社では「健康づくりを行うとボーナスをあげます」という取り組みをこの10年ぐらい行っています。そうすると、皆さんすごくやる。それと同じ考えで、健康診断を受けたらポイントをもらえる、異常値がなければさらにポイントをもらえる、という取り組みをすると、もっと市民の意識も上がるのではないかと思います。ポイントが具体的に現金になるかどうかは難しいところがあると思いますが。例えば市川では「ICHICO(イチコ)」というデジタル通貨があると聞きますので、ポイント還元すると、より健康意識が上がり行動も変わるのではと思います。

(委員長) 浦安市でも、健康ポイント事業というものがあります。資料30ページにある通り804名の登録者がいますが、人口からすると浸透度が低いような気はします。

(委員) 初めて聞きました。

(委員長) どのように広げていこうと企画していますか。

(事務局) 今後どのように広げていくかについては、インセンティブをどう増やしていくかということにあると思います。健康うらやす21本編106ペー

ジにコラムで載せていますが、令和6年度の浦安市内の協賛店は26店舗です。

使えるところを増やすことを目標にしています。またイベントの中でポイント登録会を行ったり、チラシやポスター、地域新聞などでも浸透させていきたいと思っています。少しずつ千葉県の実組に、本市の実組を連携させ、市民の主体的、継続的な健康づくりを目的に、楽しんでポイントを貯められると良いと思っています。健康ポイントを知ってもらうことを重点として行っていきたいと思っています。

(委員長) ご参加の皆様も、健康ポイント事業を広めていただきたいと思います。商工会議所さんは参加していますか。

(委員) 初めて知りました。

(委員長) クリニックには置いてあるのでしょうか。薬局はいかがでしょう。

(事務局) よければチラシを置かせていただければと思います。

(委員) PRしたいと思います。

(委員長) まずはこんなものがあるということを、各団体で周知にご協力いただければと思います。浦安市には、色々な世代の多様性のある人たちがいると推測します。順天堂大学浦安日の出キャンパスでは4分の1ぐらいは外国の方で、少なくとも4年間は浦安におり、かつ、浦安でアルバイトをするなど、色々な形で市民と関わる機会も出てきます。周りのコンビニエンスストアは、外国の方が多いです。そういう人たちが子どもを産むことや、その子どもが小学校に入ったりすることもあり得ます。そのような意味でも、誰もが浦安に住み、そして健康を作ってもらい、ここにいてよかったと思ってもらえるといいと思います。運動や食事だけではないと思いますが、何か皆様の方から、ご意見ありますか。

(委員) 1ヶ月児健康診査費用の一部助成を通して、市として子どもの状況を把握することに繋がっているというお話がありましたが、いいと思いました。学校では、家庭の様子がよくわからない児童が一定数いると思います。ネグレクトの家庭と思った時も、家庭の状況は掴みにくい。そのため助成を受けることで子どもの状況を把握し、支援に繋がることがあれば、続けていただきたい。他に今後の計画はありますか。

(事務局) 母子保健課では、令和7年4月から1ヶ月児健康診査の費用助成を開始しました。これはお子さんの健康診査費用の助成で、産婦さんへの費用の公的負担は以前から行っています。出産の2週間後と1ヶ月後に産婦健康診査を行っており、1ヶ月児健康診査の方が受診率9割以上で高くなっています。出産後はお母さんのメンタルヘルスが動く時期のため、病院での産婦健康診査で産後うつ傾向がないか質問票を用いて把握しています。うつ傾向がある場合は、市に情報提供をしてもらい、市でお母さんと赤ちゃんの状況を確認しています。

産後うつ傾向のある方に、なるべく早く電話や訪問し、状況を伺うため、医療機関とも繋がりながら、母子の健康をサポートする仕組みを提供しています。

(委員長) 未来を担う子どもたちへの対策はすごく大事だと思います。子どもに対してだけではなく、例えばがんの検診も自費負担がありますが高くはないです。女性が他の市よりは多く、若い人の子宮頸がんワクチンも是非いろいろしてもらいたいと思います。ただ、乳がん、子宮がん検診の受診率は決して高いわけではないため、女性だけの問題としてとらえるのではなく、奥さんや娘たちのために男性にも健康教育を行ったらいと常々思っています。また、男性の産後うつがあった時に、保健師も助産師も女性しかいないので、もう少し共感できるよう男性に相談できるとよいと思います。市民公募の方たちは関心のある方もいますし、子育てしている方もいますので。災害に遭った経験のある方は次に災害にあった方を助けるため、その方の話を聞くのが一番だというのは確実に言われています。最近男性で育児休暇をとる方が増えてきました。法律は大きいため、それにより子どもに対する社会の持ち方も変わってきたと思います。1ヶ月児健康診査はお父さんが仕事に復帰する時期に重なったりするので、そのようなことも含めて行っていただければと思います。また何かあれば是非とも事務局にご意見をお寄せください。

問い合わせ先 健康こども部 健康増進課 成人保健係 電話 047-381-9059